

表1

令和6年度 定款に沿った事業計画
令和6年4月1日～令和7年3月31日

公益社団法人東京都山岳連盟

1. 登山道徳の啓発および普及(定款第4条第1号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人員	備考
スポーツ指導者総会、研修会	スポーツ指導者資格更新のための義務研修	7月	50名	指導委員会
スポーツ指導者向け都岳連通信発送	都岳連通信年間2回発送	5月(4・1号) 11月(2・3号)	—	指導委員会
少年少女登山教室	JMSCA助成金(ジュニアクライミングスクール)	12月	30名	スポーツクライミング局
JMSCA・指導委員長会議	全国都道府県指導委員長参加の総会	6月	—	指導委員会
自然保護委員会Webサイトの運営	委員会行事、自然保護活動の紹介	随時	—	自然保護委員会
会員交流会	個人会員を中心とした講習会・親睦会を開催	年2回程度	各回15名	会員委員会
山の基礎講座	個人会員、初心者、ステップアップを目指す方のための講座	年3回程度	各回15名	新規事業PJT
子供の野外体験、障害者の登山体験サポート	野外体験、登山体験サポートの新規事業のプログラムの試行実施	年4回程度	各回6名	新規事業PJT

新規
新規

2. 登山技術の普及(定款第4条第2号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人員	備考
マウンテンスクールの実施	主に登山の初心者むけ、実地での登山を通じて、安全な登山の啓蒙を図る。	春、夏、秋、冬	100名 (夏・秋:各30名、春・冬:各20名)	安全登山教室委員会
トレッキングスクールの実施	登山の初心者、高齢者むけ、実地での登山を通じて、安全な登山の啓蒙を図る。	春、夏、秋、冬	(春夏秋冬:各24名)	安全登山教室委員会
沢登り教室の実施	沢登りに必要な、基礎知識の習得、実践を通じた基礎技術の習得を図る。	6月～8月	10名	安全登山教室委員会
クライミングスクールの実施	岩登り、とりわけアルパインにおけるマルチピッチクライミングの基礎段階の習得。	6月～8月	28名 (I:16、II:12)	安全登山教室委員会
雪山教室の実施	雪山登山に必要な、基礎知識の習得、実践を通じた基礎技術の習得を図る。	前年度～5月 12月～翌年度	35名	安全登山教室委員会
各教室オプション	各教室で学んだ基礎技術の補習、追加講習。	4月～3月	10名	安全登山教室委員会
ハイマウンテンスクールの実施	マウンテンスクールの修了者を対象として実施	7月～10月	12名	安全登山教室委員会
バリエーションスクール	プロガイドの安全管理基準を体験することを通じて山行の安全管理の習得を図る	夏	10名	プロガイド養成委員会
パラ登山支援	ガイドのロープによる安全管理技術を用いてパラ登山の支援を行う	通年	40名	プロガイド養成委員会
山岳写真教室	ガイド及びプロの写真家が同行しての山岳写真教室	春、夏、秋、冬	40名	プロガイド養成委員会
加盟団体向け講習	都岳連加盟団体向け技術講習	通年	50名	プロガイド養成委員会
おくたま登山学校	奥多摩及び他地域での登山を通じ、山・自然の魅力を知るとともに、安全登山の基礎知識、技術の習得を図る	4月～3月 実技9回	16名	おくたま登山学校
都岳連登山・自然学校		4月～3月 実技20回		MCSS委員会 プロガイド養成委員会 指導委員会他
講師派遣	(公社)東京都山岳連盟への講師の派遣の依頼に対して、コーチ1・コーチ2の派遣を行なう。	未定	—	安全登山教室委員会 指導遣対部
地図読み講習会	相模湖周辺・奥多摩にて実技の2回実施	4月、11月	30名	指導委員会
読図・ロープワークオンライン講座	オンラインにて読図・ロープワーク・他の机上オンライン講座を4～5回	4月～12月	40名	指導委員会
トレイルランニング委員会安全走行講習会参加	至6回により、安全にトレイルランニングを楽しむ技術や他者、自然との共存のためのマナーを身につける。	5月～9月	40名	トレイルランニング委員会
ロープの基本を学ぶ	R4年度行った深川SCでの机上からの延長実技講習(日和田・日帰り)	5月	10名	指導委員会
JMSCA氷雪技術研修会	JMSCA主催の研修会へ1名派遣し、最新の技術の習得及び新しい情報へ更新していく。	3月	1名	指導委員会
JMSCA登攀技術研修会	JMSCA主催の研修会へ1名派遣し、最新の技術の習得及び新しい情報へ更新していく。	11月	1名	指導委員会
深川SC業務受託事業	深川SCクライミング施設の運営管理業務	4月～3月	—	深川委員会
葛飾区SC業務受託事業	葛飾区クライミング講習会受託事業	4月～3月	—	スポーツクライミング局

新規

新規

新規

3. 山岳遭難の予防と遭難対策(定款第4条第3号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人員	備考
山の天気入門講座	安全登山に必要な山岳気象の基礎講座	4月～12月	30名	気象委員会
地上天気図の書き方講習会	ラジオ放送、その他メディアから得た情報を基に天気図を描く技術の習得講座	8月	5名	気象委員会
天気図の見方講習会	地上天気図、高層天気図等、安全登山に必要な天気図の読み方講習会	6月	30名	気象委員会
春の観天望気講習会	天気予報に頼らず、空や雲、周囲の様子を見て天気を予報する技術を学ぶ講習会	2025年3月	8名	気象委員会
夏の観天望気講習会	天気予報に頼らず、空や雲、周囲の様子を見て天気を予報する技術を学ぶ講習会	7月	8名	気象委員会
秋の観天望気講習会	天気予報に頼らず、空や雲、周囲の様子を見て天気を予報する技術を学ぶ講習会	10月	8名	気象委員会
冬の観天望気講習会	天気予報に頼らず、空や雲、周囲の様子を見て天気を予報する技術を学ぶ講習会	2025年1月	8名	気象委員会
冬山の気象講習会	気象変化の激しい日本の冬山で遭難しないための山岳冬季気象情報を学ぶ講習会	11月	30名	気象委員会
気象講演会	安全登山に必要な気候変動や諸現象について学ぶ外部講師による講演会	11月の2日間	30名	気象委員会
委員研修会1	気象委員会専門委員の研修会ー1	10月	10名	気象委員会
委員研修会2	気象委員会専門委員の研修会ー2	2月～3月	6名	気象委員会
委員研修会3	気象委員会専門委員の研修会ー3		0名	気象委員会
初歩のロープワーク活用法(春)	ハイカー・縦走者向けのロープワークの講習会	4月	15名	遭難対策委員会
委員研修(岩場)	岩場のセルフレスキュー講習会の事前研修	5月	8名	遭難対策委員会
山のセルフレスキュー講習会「岩場のセルフレスキュー」	岩場のセルフレスキューで必要なロープワークの講習会	5月	12名	遭難対策委員会
委員研修(ファーストエイド)	山のファーストエイド講習会の事前研修	6月	8名	遭難対策委員会
山のセルフレスキュー講習会「山のファーストエイド」	山の事故に遭遇した時のファーストエイドの講習会	6月	20名	遭難対策委員会
遭難事故防止講習会	長野県警救助隊による講演(夏山編)	6月	40名	遭難対策委員会
委員研修(テーピング)	山のテーピング講習会の事前研修	9月	8名	遭難対策委員会
山のセルフレスキュー講習会「山のファーストエイド(テーピング編)」	山の事故に遭遇した時のテーピングの講習会	9月	20名	遭難対策委員会
遭難事故防止講習会	長野県警救助隊による講演(冬山編)	11月	40名	遭難対策委員会
初歩のロープワーク活用法(秋)	ハイカー・縦走者向けのロープワークの講習会	11月	15名	遭難対策委員会
委員研修(冬山)	冬山のセルフレスキュー講習会の事前研修	1月	8名	遭難対策委員会
山のセルフレスキュー講習会「冬山のセルフレスキュー」	雪崩への対処と冬山搬送に必要な技術の講習会	2月	18名	遭難対策委員会
山岳遭難発生時の救助要請と捜索方法に関する勉強会	都岳連、JRO	2回程度開催	10名	事務局 遭難対策委員会 救助隊他
救助隊研修(積雪期)	都岳連、JRO 積雪期の事故発生時における緊急対応並びに救助技術検討	12月～3月	10名	救助隊
新規 奥多摩安全マップの作成普及	奥多摩での安全登山、山でのリスク回避のためのマップの作成と普及	通年	3名	遭難対策委員会 救助隊 おくたま登山学校
奥多摩開山祭	青梅警察主催の遭難対策キャンペーン(春)と共催	4月	10名	事務局 救助隊 自然保護委員会他
新規 遭難防止キャンペーン	登山者が多い山域において、登山における注意事項などを掲載したチラシ配布等による啓蒙活動	5月、10月	5名	救助隊 おくたま登山学校
谷川岳山開き	山開きへの参加と情報交換	7月	2名	事務局他
奥多摩遭難防止活動	青梅警察主催の遭難対策キャンペーン(秋)と共催	10月	3名	事務局 救助隊他
谷川岳閉山式	閉山式への参加と情報交換	10月	2名	事務局他
指導委員会自主研修	講師養成及び、指導法のすり合わせ	6月・2月	10名	指導委員会

4. 山岳スポーツ競技の普及及び推進(定款第4条第4号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
第15回ハセツネ30K	日本山岳耐久レースの入門レースとして、早春の奥多摩を走る大会を開催	3月31日	1,600名	トレイルランニング委員会
第32回日本山岳耐久レース(24時間以内) 長谷川恒男CUP	美しい奥多摩の自然の中で、自己の限界に挑戦し、強い身体を鍛えていくレースとして大会を開催	10月13日-10月14日	2,000名	トレイルランニング委員会
モリパーク・アウトドア・レジャークップ	昭和の森総合サービスが昭島のモリパーク・アウトドア・レジャークップで開催するクライミング大会の主管業務の受託(1回/年)	10~11月	80名	スポーツクライミング局
オリンピック等日本代表候補選手強化事業	日本代表、ユース日本代表選手強化	4月~12月	7名	スポーツクライミング局
国体候補選手強化事業	国体選手の強化、育成のための諸事業	4月~3月	22名	スポーツクライミング局
ジュニア特別強化事業	将来の国体選手育成のための発掘、育成事業	通年	—	スポーツクライミング局
スポーツクライミング東京選手権大会(リード)	都岳連主催、葛飾区水元公園にて開催。国体選手選考会ならびにジュニア強化選手選考を兼ねる大会	4/20, 21	80名	スポーツクライミング局
スポーツクライミング東京選手権大会(ボルダー)	都岳連主催、葛飾区水元公園にて開催。国体選手選考会ならびにジュニア強化選手選考を兼ねる大会	4/20, 21	80名	スポーツクライミング局
ボルダーユース日本選手権大会	開催場所未定 選手・スタッフ・サポートスタッフ派遣	未定	—	スポーツクライミング局
リードユース日本選手権大会	開催場所未定 選手・スタッフ・サポートスタッフ派遣	5月	—	スポーツクライミング局
関東ブロック大会派遣	山梨県 選手、監督派遣	7/6, 7/7	9名	スポーツクライミング局
佐賀国体派遣	佐賀県 選手、監督、トレーナー派遣	10/12-10/14	14名	スポーツクライミング局
ユースフューチャーカップ	選手・役員・サポートスタッフ派遣	9月	10名	スポーツクライミング局
関東小中学生選抜クライミング選手権大会	選手・役員派遣	11月	12名	スポーツクライミング局
全国高校生選抜クライミング大会選手派遣	埼玉県加須市 選手・役員派遣	12月	8名	スポーツクライミング局
スポーツクライミング・ホルタリフグジャパンカップ大会主管・選手派遣	九州クライミングベースSAGA 主管役員、選手、スタッフ派遣	2月	10名	スポーツクライミング局
スポーツクライミング・リードジャパンカップ	九州クライミングベースSAGA 主管役員、選手、スタッフ派遣	2月	5名	スポーツクライミング局
スポーツクライミング・スピードジャパンカップ	九州クライミングベースSAGA 主管役員、選手、スタッフ派遣	2月	5名	スポーツクライミング局
審判員派遣事業	外部団体(民間企業等)主催の大会に公認審判員を派遣	通年	—	スポーツクライミング局
C級審判員認定特別研修会	JMSCAスポーツクライミングC級審判員の認定研修会を開催	1-3月	—	スポーツクライミング局
公認審判員・公認ルートセッター資格更新研修	JMSCAの資格更新に必要な研修会を開催	1-3月	—	スポーツクライミング局

5 指導者の育成(定款第 条第 号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
山岳コーチ1養成講習会	(JSPO資格)スポーツ指導者養成	5月~翌年1月	10名	指導委員会
山岳コーチ養成教室	山岳コーチへのステップとしてロープワークの基礎を指導	5月	10名	指導委員会
SCコーチ1養成講習会	(JSPO資格)スポーツ指導者養成	9月~12月	10名	指導委員会
山岳指導者新規認定・更新登録作業	(JSPO資格)山岳指導者新規認定・更新登録作業を行う。	5月、11月	—	指導委員会
JMSCA夏山リーダー講習会	(JMSCA主催 都岳連主管)夏山リーダー講習会の開催。	3月~4月	10名	指導委員会
夏山リーダー講師養成講習会派遣	(JMSCA主催)夏山リーダー講師養成講習会へ講師の派遣を行う。	未定	2名	指導委員会
スポーツ指導者養成説明会	11月のアンケートをもとに、2月に説明会を開催する。	2月	10名	指導委員会
プロガイド養成	机上及び実地講習を通じてプロガイドを養成・認定	通年	20名程度	プロガイド養成機構
プロガイド養成	認定済ガイドへの技術更新研修	通年	70名程度	プロガイド養成機構
指導者育成・スポーツ専門人材活用事業	国体トレーナー派遣	10/12-10/14	2名	スポーツクライミング局

6. 登山に関する刊行物、機関誌の発刊及び映像制作(定款第4条第6号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
都岳連Webサイトの運営	講習会、行事を中心に都岳連の情報発信	随時	—	広報委員会
都岳連メールマガジンの発行	都岳連Websiteに誘導する情報発信	1回/月	—	広報委員会
都岳連通信発行	都岳連通信年間4回発行。登山に関する情報、安全登山啓発関連情報伝達。	四半期	—	出版委員会

7. 登山施設の調査及び設置(定款第4条第7号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
新規 奥多摩地区調査、奥多摩小屋廃止問題に関する調査	旧奥多摩小屋跡地に、テント場やエコトイレの設置のを登山者の立場から、行政、関係機関に要望を行い、旧奥多摩小屋周辺の機能維持と環境保全を求める活動。	雲取調査山行(夏、冬)時ほか適時行う	—	自然保護委員会及び特別委員会

8. 山岳自然保護運動の推進(定款第4条第8号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
新規 グリーンフェスティバル参加	大会で傷ついた自然を大会前よりさらに美しくしてお返ししようとのコンセプトのグリーンフェスティバルへの参加。	4月、10月	—	トレイルランニング委員会
登山道整備事業	大会で傷ついた登山道を大会前より安全で歩きやすく整備する。	5月、6月、11月、12月、1月	20名	トレイルランニング委員会
カタクリパトロール	奥多摩で数少ないカタクリ群生地である御前山でのカタクリ保全へ向け期間中看板を登山道に設置、撤収する。カタクリの群落調査については報告しやすい様式を検討。	4月、5月	30名	自然保護委員会
自然観察会(春)	一般対象の植物を中心とした自然観察会。登山マナーや自然環境保護の重要性を認識してもらう啓もう活動	4月	20名	自然保護委員会
クリーンキャンペーン	世界環境デーに合わせ、登山道の清掃やゴミ袋配布を通じた登山マナーの啓発活動	6月	50名	自然保護委員会
水質調査	御前山での水質の定点調査 高尾山での全国一斉調査の参加 合計7か所で実施	6月	5名	自然保護委員会
自然保護指導員認定講習会(一般都岳連会員、プロガイド、スポーツ指導員向け)	日山協自然保護指導員資格取得のための机上及び実地講習会。奥多摩の自然観察を通じ、指導員の心得や活動等について解説	10月	13名	自然保護委員会
雲取調査山行(夏)	一般募集して雲取山の環境を解説しながら登山。特にシカの食害、山荘・避難小屋のトイレ使用状況などを説明。閉鎖された奥多摩小屋周辺の環境調査も行う。	7月	12名	自然保護委員会
雲取調査山行(冬)	一般募集して雲取山の環境を解説しながら登山。雲取山の環境調査。シカの食害等、山荘・避難小屋のトイレ使用状況などの定点調査。閉鎖された奥多摩小屋周辺の環境調査等。	12月	10名	自然保護委員会
森の再生・登山道整備	SDGsに叶う活動を内外にアピールするとともに、山岳環境保全活動を活性化。森林再生・植林や登山道整備などを推進するため、企業、財団等のリサーチ。事業候補地のリサーチ、選定。計画立案。	随時	—	自然保護委員会
指導員通信発行(秋・春)	自然保護指導員に対する情報発信、および委員会事業等の参加呼びかけ。はがきからメールにシフト中。臨時号はメール配信で行う	4月 10月	—	自然保護委員会
日山協自然保護委員総会	全国各岳連の自然保護委員が一堂に会し、自然保護の課題を討議、情報交換する。	11月	4名	自然保護委員会
自然保護指導員研修会、公開講演会	日山協自然保護指導員資格更新及び研鑽のための机上講習会。指導員の実際の活動に役立つ知識の研鑽。及び自然保護に関心のある一般登山者向けの公開講演会。日山協自然保護委員会主催、当委員会主管で行う。	1月	50名	自然保護委員会
おもしろ地球観察会	一般対象の地学勉強会。自然環境保護の重要性を認識してもらうとともに、奥多摩の地形・地層の知識を深めてもらう啓発活動。	11月	20名	自然保護委員会
委員研修会	自然観察を通じて、動植物・地学等の研鑽を積み山岳環境に関する専門委員及び自然保護指導員のスキルアップを図る	6月	15名	自然保護委員会

自然保護指導員認定	日山協自然保護指導員の新規(5名)・更新者(20名)の認定作業	3月	新規13名 更新10名	自然保護委員会
山岳団体自然環境連絡会	日山協、労山、日本山岳会などの自然保護部門の連絡会。情報共有と課題解決を協働して取り組む。	隔月	4名	自然保護委員会
自然公園指導員活動報告まとめ	都岳連推薦の環境省自然公園指導員(20名)の年間活動報告をまとめ環境省に提出	4月	—	自然保護委員会

9 海外登山・国際交流

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
第38回「海外の山を知ろう!!」	海外の山の魅力と、登るためのノウハウを登山者に伝える。講師は調整中。	6月	70名	海外委員会
第39回「海外の山を知ろう!!」	海外の山の魅力と、登るためのノウハウを登山者に伝える。講師は調整中。	11月	70名	海外委員会
ソウル市山岳連盟との交流事業	ソウル市山岳連盟訪問・情報交換、ならびに交流登山。	4月以降	8名	事務局 海外委員会
アジア各国との交流検討PJT	各国団体との連絡連携体制構築の方法を検討。	4月以降	—	海外委員会、他
インバウンド雪山教室検討PJT	外国人を対象とした登山教室を実践するためにどのような準備が必要になるかを検討。	4月以降	—	海外委員会、他
新 規 海外登山を目標とした登山教室 検討PJT	登山教室の概要を検討。	4月以降	—	海外委員会、他
ソウル山岳連盟との交流事業	日韓山岳会の遭難対策、救助技術の情報交換ならびに交流登山	未定	—	救助隊

10. 登山に係る保険・共済事業の運営(定款第4条第10号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
山岳保険・共済制度の普及啓蒙	山岳保険・共済制度に関する講習(3回)並びに情報発信、講師派遣	未定	20名	遭難対策委員会 事務局

11. その他本会の目的を達成するために必要な事業(定款第4条第11号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
講習会のリスク管理(安全対策中心)	講習会等での事故事例をまとめ東京都山岳連盟で開催する各種講習会・教室等での事故防止のガイドを作成する。	通年アナウンス	—	コンプライアンス委員会 関係各委員会
倫理に関する勉強会	公益社団法人における活動において求められる倫理行動、不適切な行為を学ぶ。	6月月	40名	財務部、総務部 コンプライアンス委員会

	事業数	累計参加者数
講習会	52	3,451
研修会	33	504
競技会	10	3,896
合計	95	7,851